

町田市宅地開発事業等に伴う道路整備の注意点と施工例

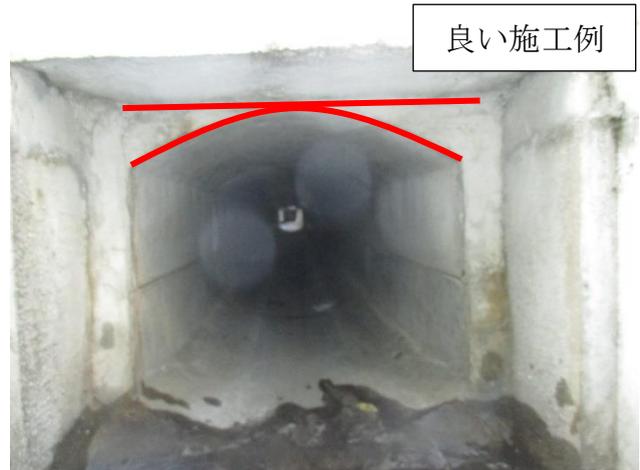
LU側溝屈曲部のL型長

LU屈曲部に使用する部材は、現場打ちのものは使用せず、既製品をカットした短辺 20 cm 以上のものを使用すること。



横断暗渠設置深さ

横断暗渠は内部に水が滞留しないよう、集水ます縁塊の下端と暗渠内径の上端を合わせること。



横断暗渠の設置位置が低いため、横断暗渠内に水が滞留している。

集水ます縁塊の下端と横断暗渠内径の上端の高さが合わせてある。

横断グレーチング端部処理

横断グレーチングを切断した場合は、安全のため切断箇所にてプレートに溶接すること。



U形用集水ます接続部のL型面取り

U形用集水ます接続部のL形は安全のため、角を面取りすること。



オーバーフロー管の接続方法

オーバーフロー管は逆流しないよう側溝の底面から 10 c m 以上の場所に接続すること。



道路終端部の境石設置方法

道路終端部は道路両側の特殊 L U 形溝工を道路終端まで設置し、特殊 L U 形溝工の間に境石を設置すること。



境石が道路終端まで設置され、特殊 L U 形溝工が道路終端まで設置されていない。



特殊 L U 形溝工が終端まで設置され、特殊 L U 形溝工の間に境石が設置されている。

隅切り部の道路勾配

急勾配道路の隅切り部は、車両の通行に支障がでないよう、丁張時に立会いを行い、横断勾配等を調整してから施工すること。



横断勾配を調整しているため、隅切り部の勾配が緩やかになっている。



通常と同様の横断勾配で施工したため、隅切り部の勾配が急になっている。

注意看板の設置位置の選定方法

注意看板の設置位置は宅地分譲後に購入した住民又は隣接住民の車両の出入り、土地利用に支障がない場所にする。擁壁、ごみ置き場等の前は車両の出入りの支障になりにくいいため、設置場所を選定する際に検討すると良い。



道路凹凸部の車止め・ポストコーン設置方法

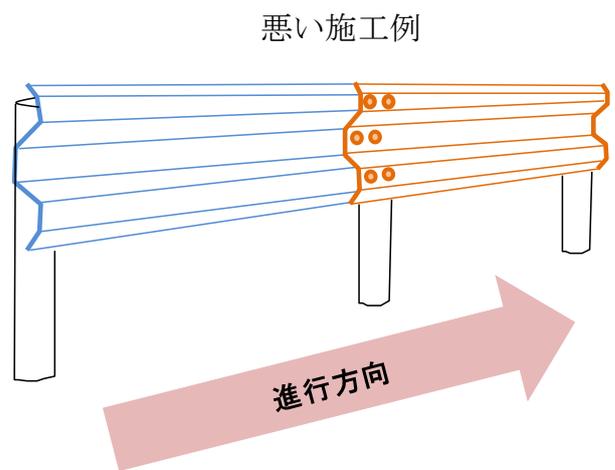
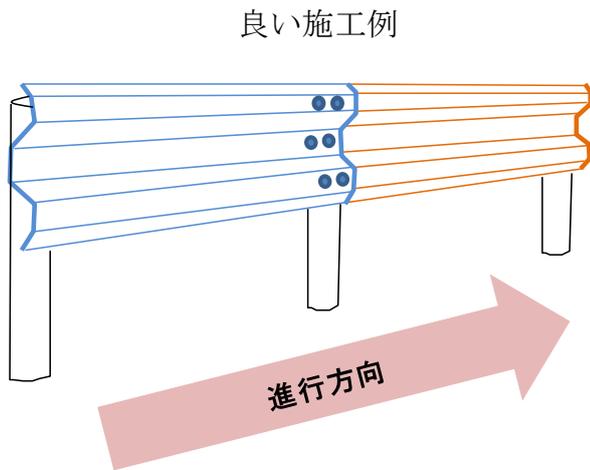
ポストコーンの設置は車両の出入り、隣接土地の土地利用に支障がないかを事前に確認した位置にすること。



ガードレールのビーム設置方法

ガードレールのビームは、車両の進行方向から見て前方にあるビームが上部になるよう重ね合わせる

こと。



車両の進行方向から見て前方にあるビーム
(青色) が上部になるよう重なっている。

車両の進行方向から見て後方にあるビーム
(橙色) が上部になるよう重なっている。

階段部スロープの連続性

階段部のスロープは自転車等の通行がしやすいよう、通路面まで連続させ、段差が生じないようにすること。

